

高校

藤沢市での「SDGs×アート」探究学習 第3回「AOBA×BUNKYO 藍indigo project」実施

2025年3月、今年で3年目を迎える「AOBA×BUNKYO 藍indigo project」が実施されました。本プロジェクトは、本校とアオバジャパン・インターナショナルスクールの共同プログラムとして、「サステナブル」と「アート」をキーワードに、神奈川県藤沢市の地域課題をアートで表現・発信していく実践型の探究学習です。

今回のプロジェクトでは、両校から32名の生徒が参加し、「人間に寄り添う犬から考えるインクルーシブな社会」をテーマに、特定非営利活動法人ウエルフェアポート湘南（神奈川県介助犬聴導犬協会）と連携し、藤沢市での補助犬に関する取り組み事例についての講義・現地フィールドワークを実施してきました。そして、両校混合による8グループの生徒たちは、さまざまな役割を果たす「犬」を起点にインクルーシブな社会の在り方を考え、藤沢市在住の藍左師・守谷玲太氏（株式会社アートモリヤ）監修のもと、藍染めの表現技法を学びながら、藍を使って補助犬啓発マークをデジタルでデザインしました。さらに、

それぞれのマークデザインを象ったキーホルダーやシールなどの啓発グッズ、活動記録をドキュメンタリー形式でまとめたフォトブックも制作しました。そして、それらの成果発表の場として、介助犬を引退した犬がいるカフェ「Terrace-TiPi」（藤沢市）にて、7月2日（水）～16日（水）（定休日除く）の期間、作品展示も実施されます。尚、展示期間中は、全8グループのマークデザインをまとめて紹介するリーフレットの配布も行います。

以下、本プロジェクトに参加した生徒からの振り返りコメントを掲載します。（一部抜粋）

本校生徒コメント

学年や所属校に関係なく編成されたグループでの活動で、最初は少し緊張しましたが、だんだんと打ちとけることができました。写真の撮り方に関するワークショップをはじめ多くのグループワークをしましたが、何か物事に協力して取り組んでいくと、グループの力が高まっていくことを改めて感じました。事前学習の発表についても、今後はもっと聞いている人の興味を惹く内容、且つ理解しやすいように工夫した原稿作りや発表を心がけていきたいと思いました。

（当時高校2年生のコメントより）

藤沢でのフィールドワークで体験したことをスライドやドキュメントにまとめ、デザイン制作にあたっては、今回のテーマに沿って、デザインに込めた想いや今後どのような場面で活用したらよいかを考えながら制作しました。そして、啓発マークのタイトルを考え、ポスターやキーホルダー制作も行いました。私たちのコンセプトである「何気ないけど意味のある可愛いデザインにする」ということが、キーホルダーにしたことにより、反映されたようで嬉しかったです。短い期間でしたが、藍の学びを通して藤沢市の補助犬の現状について学ぶことができ、とても楽しかったです。

（当時高校1年生のコメントより）

PHOTO GALLERY フォトギャラリー



大学

ボランティア部・東京アンカークラブが 「奨励賞」を受賞

4月12日・13日の2日間、「第35回パイロットインターナショナル日本ディストリクトコンベンション」が新潟県の朱鷺メッセ国際会議場で開催され、本学のボランティア部・東京アンカークラブに所属する経営学部3年の中島由惟さん、堀江花音さんが活動報告を発表し、アンカー部門で「奨励賞」を受賞しました。

本学のボランティア部・東京アンカークラブは、東京パイロットクラブの認定NPO団体と提携しています。この団体は脳外傷の予防啓発や、脳関連障害者への支援を行うほか、提携団体主催のイベントへの参加や、老人保健施設や児童福祉施設への訪問等を行っています。

学生たちは昨年度、文京区地域の子どもたちの参加するお祭りでの緑日支援や、子ども山車の安全確保サポート等イベント補助のほか、文京区にある多福院を会場に行われている寺子屋での勉強サポートのボランティアを行いました。また、昨年秋に葛西臨海公園にて開催された「パイロットウォーク」では、障害を持つ人々と共に街中を散歩しながら、脳関連障害を持つ方々への支援と外傷性脳障害の予防を呼びかける活動も行いました。

今後も各団体とも協力しながら、活動を続けていきます。



左：中島由惟さん、右：堀江花音さん

BOOK INTRODUCTION 書籍紹介

『理学療法ジャーナル』(2025年4月号)



福井勉学長が編集顧問を務める『理学療法ジャーナル』の最新号Vol.59 No.4が、4月8日に医学書院より刊行されました。本号の特集記事「スポーツパフォーマンス改善をめざすプロフェッショナルの視点」は福井学長の企画によるもので、本学卒業生4名も執筆者として登場しています。

（以下、医学書院ホームページより）

「スポーツ動作の動作分析では、相分解する要素主義的な考え方だけではなく、相互に関係する動作の流れが重要である。サイクルを繰り返す動作をはじめとして、時間的、空間的つながりが重要になる。止まっているボールに力を加えるものや、動いているボール、対人動作が重要になるものに加え、審美系、格闘技など種類も多く、高齢者に適したものもある。本特集は、スポーツパフォーマンス向上に理学療法の知見を使用するための、さまざまなプロフェッショナルな視点の集約である。」
医学書院(2025年4月)/ 2,090円(税込)

GREEN SPIRITS



異文化体験は、 成長への第一歩

文京学院大学女子中学校
校長 島田美紀

こんにちは。2025年4月より中学校校長に就任した島田美紀です。

突然ですが、友だちと一緒にいて、「ちょっと違うな」と感じる経験をしたことはありますか？もしかしら、それが「異文化体験」の第一歩かもしれません。私は今まで、たくさんの生徒と海外語学研修に行きましたが、その中で心に残った

「異文化体験」をご紹介します。

英国研修中の出来事です。ある朝、二人の生徒が涙ながらに私の所にやってきました。海外の学校に通いながらホームステイをするプログラムに参加していたのですが、ホストマザーに一方的に叱られたというのです。そんな二人に私は、「自分の気持ちをきちんと伝えることは、お互いを理解するための大切な一歩」と伝えました。

生徒たちは、絨毯に水をこぼしてしまったことなど、自分たちが悪かったことは素直に謝りたいと言いました。ただし、苦手なグリーンピースが毎朝出てきて、それが「豆ではない」と言われたことには、困っていました。コーディネーターの方の助けを借りて、ホストマザーに自分たちの気持ちを伝えることができたのですが、なんと、翌朝もグリーンピースが食卓に並んでいたそうです。

外国に限らず、今回のように、予期せぬ困った出来事が起こることがあります。でも、それは決して悪いことではありません。むしろ、自分とは違う文化や考え方を知り、よりお互いを理解し、より良い関係を築くための大切な機会になるのです。このような経験を通して、私たちは大きく成長することが出来ます。

学校生活の中にも、多くの「異文化体験」があります。初めて参加する学校行事、グループワークで色々な意見を聞くことや部活動…これらも全てが異文化体験です。

文京学院には、学級活動や学校行事、部活動など、学校生活の中に、皆さんが新しい発見をし、視野を広げるための様々な機会があります。ぜひ、一歩踏み出して、新しい世界に飛び込んでみてください。皆さんの学校生活が豊かになることを心から楽しみにしています。皆さんが「ワクワク」「ドキドキ」する学校生活を送ることを願っています。

中高

新学期を迎え、中学校と高等学校では、学年ごとにさまざまな校外イベントが実施されました。

中3 「修学旅行」実施

4月16日～19日の4日間、中学3年生は、関西の4府県を訪ねました。初日は、奈良県の東大寺と興福寺を見学し、世界一の巨大な木造建築と荘厳な大仏を目の当たりにし、雄大な歴史を感じることができました。奈良公園のシカも生徒から人気でした。2日目は、滋賀県に移動し、琵琶湖を中心に、琵琶湖博物館や彦根城を見学し、信楽焼のたぬきの絵付け体験など、3つのコースに分かれて体験学習と班別研修を行いました。3日目は大阪府まで足を伸ばしてUSJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)に行き、アトラクションを体験したり、お土産を買ったりと、楽しい時間を過ごしました。最終日も3コースに分かれ、京都府の清水寺や平等院鳳凰堂、伏見稲荷大社などを見学しました。

中学3年生になってすぐに出発という日程であったため、中学2年生のうちに行動班を決めたり事前学習をしたりしてきました。天候に恵まれ、予定した行程を順調に進めることができ、充実した修学旅行になりました。

PHOTO GALLERY
フォトギャラリー

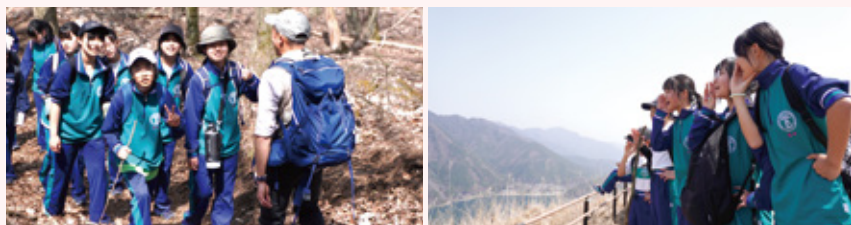
写真提供:スタジオ・トナミ



中1 「宿泊訓練」実施

4月17日～19日の3日間、中学1年生は、富士山の麓で宿泊訓練を行いました。レクリエーションなどを通して「友だち作り」や「クラス作り」の基盤を築きます。伝統教育の1つであるペン習字を書き始める大切な行事でもあります。学習への取り組み方や友人関係の在り方についても考えました。

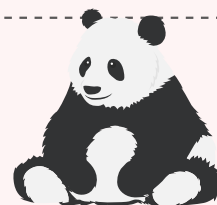
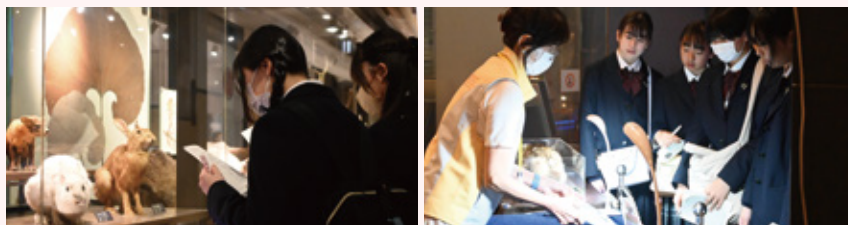
最終日のトレッキングでは、声を掛け合いながら紅葉台を目指しました。頂上から見た景色の美しさに大きな歓声が上がり、「ヤッホー」というこだまが響き渡りました。帰りに食べた山梨県の郷土料理「ほうとう」のおいしさは格別でした。文京学院生としての一歩を歩き出した中学1年生、これからの成長が楽しみです。

PHOTO GALLERY
フォトギャラリー

中2 「校外学習」実施

4月18日、中学2年生は、上野にある国立科学博物館を訪れました。今回の校外学習の目的は、「日本でも有数の科学博物館で豊富な展示物に触れ、知的好奇心を養う」と「新しいクラスの友人と一緒に行動し、お互いを知る機会とする」の2つです。

新旧クラスが入り混じった班行動や圧倒的な質と量の展示物は、新学年のスタートを告げる良い刺激となりました。また、午後には希望者を募り、上野動物園の見学も実施しました。

PHOTO GALLERY
フォトギャラリー

高1 「スプリングキャンプ」実施

4月15日・16日の2日間、高校1年生は、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、スプリングキャンプを実施しました。目的は「クラスの親睦を深め、互いに協力し合うこと」です。

1日目は、チームビルディングに役立つゲームや体育祭のクラスTシャツ・応援旗のアイデア検討、夜は卒業生による高校&大学ガイダンスと盛りだくさんでした。翌日は、クラス対抗のドッジボール大会を行うなど、充実した2日間を過ごすことができました。

PHOTO GALLERY
フォトギャラリー

特集 注目のトピックス

中高公式サイト▶

Topic
01

3月27日

高校

「JKA補助事業成果報告会」
—STEAM 教材開発の高度化—

高校の佐藤泰正 副校長、
岩川暢澄 探究部部長、
タイ科学交流プログラ
ム派遣メンバーの
笠井美優さんが登壇
@東京大学駒場キャンパス

経営学部公野勉教授と公野ゼミ生 ラジオ出演
『森田健作 青春の勲章はくじけない心』

特撮映画
『ヴァリドマン』
制作秘話語る
@ニッポン放送

ヴァリドマン
公式サイト▶

大学

Topic
02
5月19日Topic
03
6月

大学

『ジモトに乾杯!居酒屋ゴルゴ』
福井勉学長と鈴木大介
文京学院大学大使が出演
@J:COM埼玉

j:COM
チャンネル
サイト▶Topic
04

大学

「嗅覚VRゲームを
用いた高齢者
認知機能の改善に
関する研究」

人間学部小林剛史教授が参画している共同
研究が、国際的なトップジャーナル
『Scientific Reports』(Nature Publishing Group)に掲載



大学公式サイト▶

ひたむき・まえむき・おもむき
tomoちゃん

第97回

画:美術部(高校)HINA

